

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	独立行政法人防災科学技術研究所施設整備に必要な経費		担当部局庁	研究開発局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～なし		担当課室	地震・防災研究課		地震・防災研究課長 森澤 敏哉		
会計区分	一般会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 X-9 安全・安心な社会の構築に資する科学技術の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人防災科学技術研究所法 第十五条		関係する計画、 通知等	「科学技術基本計画」(平成23年8月閣議決定) 「防災基本計画」(平成24年9月最終改訂 中央防災会議) 等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	防災科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発、それらに係る成果の普及及び活用の促進等の業務を総合的にを行い、防災科学技術の水準の向上を図り、成果の防災対策への反映を図ることにより、災害から人命を守り、災害の教訓を活かして発展を続ける災害に強い社会の実現を目指す。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	大規模災害に対する観測・予測研究を行い、早期避難や警戒態勢の構築等の防災・減災対策の高度化に貢献するため、地震観測網の維持・更新、火山観測網の整備、ゲリラ豪雨等の早期予測のための次世代観測・予測システムの整備、雪崩・吹雪等の予測の高度化のための降雪観測機器等の整備を行う。 また、実物大の構造物に実際の地震と同じ揺れを加える実験を行う「実大三次元震動破壊実験施設(Eーディフェンス)」の、摩耗が進み交換が必要な部品を整備する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	0	70	125	221	916	
		繰越し等	0	0	9,406	0		
		計	326	0	△ 9,405	9,405		
	執行額	326	70	126	9,626	916		
	執行率 (%)	100%	99%	98%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	(独)防災科学技術研究所の事業を実施するうえで必要な施設、設備を整備する。		成果実績		研究所の行う防災科学技術研究開発等を実施するうえで必要となる施設・設備を整備。	研究所の行う防災科学技術研究開発等を実施するうえで必要となる施設・設備を整備。	研究所の行う防災科学技術研究開発等を実施するうえで必要となる施設・設備を整備。	事業の達成上必要最低限の範囲を計画的に満たす
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	施設設備の整備 実施件数		活動実績 (当初見込み)	件	2 (2)	1 (1)	1 (1)	— (6)
単位当たりコスト	124(百万円/年)		算出根拠	平成24年度執行額(124百万円)/施設設備の整備実施件数(1件)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	独立行政法人防災科学技術研究所施設整備費補助金	221百万円	916百万円	「新しい日本のための優先課題推薦枠」757				
	計	221百万円	916百万円					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	当該事業は、防災科学技術研究所等が実施するE-ディフェンスを活用した社会基盤研究のために必要な整備であり、国が実施すべき事業である。また、当該施設を用いた研究活動の成果は、国民の災害対策に資するものであり、広く国民のニーズがある事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	原則として一般競争入札を行って支出先を選定しており、事業実施可能者が、当該施設の設計・製造に熟識した者のみである場合、随意契約事前確認公募を行い、競争性を確保するとともにコストの削減の努力がみられる。また、補助金の交付決定に当たっては、事業経費の費目・使途の内容を厳正に審査し、業務の財源に充てるために必要な金額のみを交付している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	E-ディフェンスの部品は、コスト削減を図ったうえで、予定通り整備されている。平成25年度に、特に摩耗の著しい部品から優先的に交換し、事故のない安定的な運用維持を図る予定である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>○平成24年度の行政事業レビューの結果を踏まえ、一般競争入札を原則とし、契約の競争性、公平性、透明性の確保等により、一者応札・一者応募についても改善のための取組を行い、経費の削減を図ったことを確認した。</p> <p>○E-ディフェンスの部品の整備は、選定業者の特許技術であり、細部の寸法・公差や製造ノウハウにより品質・性能が満足されるもので、一般競争入札は適用できないが、随意契約事前確認公募や随意契約理由を公開して、契約の競争性、公平性、透明性の確保するとともに、経費の妥当性を検証し、コスト削減を図ったことを確認した。</p> <p>○メールマガジンによる調達情報の配信先の拡大など入札参加者を増やす取り組みを積極的に実施していることを確認した。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、防災科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発に取り組む防災科学技術研究所の施設・設備に必要な施設整備費補助金を支出するものである。</p> <p>2. 所見:必要な施設整備を計画的に実施しているものであり、整備規模の適正化やコスト削減に留意しつつ、効果的・効率的な整備の実施に努めることとし、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
<p>関係する計画、通知等</p> <p>○科学技術基本計画(平成23年8月 閣議決定) http://www.mext.go.jp/component/a_menu/science/detail/_icsFiles/fieldfile/2011/08/19/1293746_02.pdf</p> <p>○防災基本計画(平成24年9月最終改訂 中央防災会議) http://www.bousai.go.jp/taisaku/keikaku/pdf/20111227_basic_plan.pdf</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0336	平成23年	新23-0063	平成24年	0328

※平成24年度実績を記入。

文部科学省
124百万円

事業概要
独立行政法人防災科学技術研究所に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額を交付

〔交付〕

【A】
(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
実大三次元震動破壊実験施設整備
124百万円

事業概要
実大三次元震動破壊実験施設(Eーディフェンス)の交換用部品(球面軸受)を整備する

【A】(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
実大三次元震動破壊実験施設整備
124百万円

【事前確認公募・売買】

【A-1】
・三次元継手球面軸受
・三菱重工業株式会社(株)
・124百万円

事業概要
Eーディフェンスの三次元継手交換用部品(球面軸受)の調達

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業) 実大三次元震動破壊実験施設整備			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費	三次元継手球面軸受の整備	124			
計		124	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

A-1.三菱重工業株式会社(株)			A-6.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
購入	三次元継手球面軸受	124			
計		124	計		0
A-2.			A-7.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
A-3.			A-8.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
A-4.			A-9.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
A-5.			A-10.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)実大三次元震動破壊実験施設整備

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱重工業株式会社(株)	三次元継手球面軸受	124	公募※	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※随意契約事前確認公募

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					